

人文科学コース3年生による「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会が開催されました！

●2学年次に行った研究の成果を英語で発表しました

5月27日(水)、31H(人文科学コース13期生)の生徒による「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会が行われました。また、今年度は理数科の「3年課題研究Ⅲ」と合同での開催となりました。

発表会は近隣の高校のALTである、Samantha Darnin先生(大聖寺高校)、Janivah Hamilton先生(加賀高校)、Savannah St John先生(小松商業高校)、Shandley Ebrahim先生(小松明峰高校)、Virginie Laliberté-Bouchard先生(野々市明倫高校)、及び本校所属のKataizah Johnson先生、Hunter Liu先生を審査員に迎えました。また、公立小松大学よりDennis HarmonⅡ准教授に参加していただき発表会の講評をいただきました。

31Hの生徒たちは2年次に行った研究を、ALTの先生方に向けてわかりやすく説明する活動を通して、英語によるコミュニケーション能力を高めることができました。また、人文科学コース14期生となる21Hの生徒も発表会を参観し、先輩の発表する姿を目の当たりにして、自分たちの研究に刺激を得るよい機会になりました。

以下に発表会の様子、各班のタイトル一覧を紹介します。

●「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会の様子



●R8 Jゼミ(人文科学コース31H生徒)「人文科学課題研究Ⅱ」英語発表会テーマ一覧

J1	The examination of intention and background of the anonymous author of "Tale of ISE"	J5	Where should we place temporary housing in Komatsu?
J2	Uniqueness of <i>Urashima</i>	J6	The Effect of an Original Understanding of English Grammar on Learners' Cognitive Development
J3	The Survey of Relationship between Anime for Children and Lookism, and Suggestions for Reducing It	J7	The Message from American High Achievers to Young Graduates
J4	Thinking about the Legitimacy of the Imperial Family by Looking at How the Kojiki and Nihon Shoki Were Written.	J8	A study on the use of emojis in English sentences to create a better impression

●発表会をふりかえって（生徒の感想）

- ・最初は英語で発表することに緊張していたが、回数を重ねるごとに自信を持って話せるようになった。ALTの先生からの質問にも、自分の言葉で答えることができて良かった。
- ・探究活動について英語で説明するのは難しかったが、自分たちが調べてきたことを相手に伝えられた時に達成感を感じた。今後はもっと自然に英語で会話できるようになりたい。
- ・ALTの先生方が興味を持って質問してくださったので、発表していて楽しかった。質問に答える中で、自分たちの研究内容をより深く考えることができた。
- ・英語でのやり取りを通して、普段の授業ではあまり経験できない実践的なコミュニケーションを学ぶことができた。聞き取れなかった部分もあったので、リスニング力を高めたいと思った。
- ・今回の活動を通して、英語力だけでなく、人前で発表する力や相手に伝える力も身につけることができたと思う。今後の探究活動にも活かしていきたい。

特別授業 「課題研究講座」

5月28日（木）の5限に、2年生1～3Hを対象とした「課題研究講座」を視聴覚室にて実施しました。今回の講座はオンライン形式で行われ、人文社会学系の課題研究におけるテーマ設定の方法や、具体的な研究手法について学ぶことを目的としています。

講師には、京都大学大学院法学研究科博士課程に在籍し、政治思想・政治理論を専門とされている大森道也氏をお招きしました。講座では、探究活動を進めるうえで大切な「問いの立て方」や、「調査・分析の視点」について、具体例を交えながらわかりやすくお話いただきました。

生徒たちは研究ノートを活用しながら熱心にメモを取り、自分たちの今後の課題研究につながる多くの学びを得ることができました。今回の講座を通して、探究力を高めるとともに、自ら課題を見つけ深く考える姿勢を養う貴重な機会となりました。



本校卒業生の大森道也氏